

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
海外等で移民資料の収集するとともに、移民ルーツ調査、企画展示、後援会を実施する。	県	海外県人会等と連携した海外でのルーツ調査及び資料収集の実施、移民関係企画展示等の開催		
		移民ルーツ調査受付件数(累計)		
		150件	150件(300件)	150件(450件)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課		【 098-866-2746 】	関連URL https://www.library.pref.okinawa.jp/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業				予算事業名	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
					主な財源	実施方法	
一括交付金 (ソフト)	直接実施	18,212	19,227		一括交付金 (ソフト)	直接実施	19,983
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画		
4月および12月に講演会、2月に資料調査、12月に企画展示を開催した。					8月に資料調査、10月に講演会、2月に企画展示を実施予定。		

活動指標名	移民ルーツ調査受付件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		順調
	513件	621件	217件	150件（450件）	100.0%		
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和6年度は217件の新規の移民ルーツ調査を受け付け、目標値を達成した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和6年度の取組改善案				反映状況			
○海外県人会・ウチナーネットワーク・コンシェルジュ等関係機関の連携を図り、より効率的効果的な事業の実施を図る。				○海外県人会・ウチナーネットワーク・コンシェルジュ等と連携することにより、ブラジル各地から移民関係資料488点を収集し、移民ルーツ調査データベースの充実化を図った。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 （外部環境の変化）	・ 国内外での移民ルーツ調査の認知度が高くなり、調査依頼が増加している。	① 執行体制の改善	・ 海外県人会等、国内外の関係機関と連携し、効率的に事業を実施する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○様々な分野における留学生や研修生の海外派遣等
主な取組	国際性に富む人材育成留学事業		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・児童生徒に対する外国語教育及び国際理解教育の充実を図るため、様々な分野における留学生や研修生の海外派遣など国際理解の促進と主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
21世紀の万国津梁にふさわしい国際性と個性を涵養し、グローバルに活躍できる人材育成を図るため、高校生を米国、欧州、アジア、南米諸国へ1年間派遣する。	県	高校生をアジア太平洋、欧米、中南米諸国等へ約1年間派遣		
		海外留学派遣・交流者数（長期留学）（累計）		
		—	50人	50人（100人）
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課		【 098-866-2715 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	国際性に富む人材育成留学事業（国際性に富む人材育成事業）				予算事業名	国際性に富む人材育成留学事業（国際性に富む人材育成事業）	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
		主な財源	実施方法		当初予算額		
一括交付金 （ソフト）	委託	58,068	60,573		一括交付金 （ソフト）	委託	70,101
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画		
令和5年度派遣生滞在・帰国、令和6年度派遣生派遣・滞在、令和7年度派遣生募集・選考、令和7年度派遣生事前研修2,3月に係る業務を実施。					令和6年度派遣生滞在・帰国、令和7年度派遣生派遣・滞在、令和8年度派遣生募集・選考、令和8年度派遣生の事前研修に係る業務を実施予定。		
活動指標名	海外留学派遣・交流者数（長期留学）（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和5年度派遣生の帰国業務、アジア太平洋地域、欧州、南米諸国へ合計21名の派遣・滞在業務、令和7年度派遣生の募集・選考業務（24名選考）を実施。
	—	20人	21人	50人（100人）	42.0%		
						大幅遅れ	

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和6年度の派遣人数について、当初は50名を目標としていたが、世界的な物価高騰や円安等の影響により21名の派遣となったことから、進捗状況としては「大幅遅れ」となった。（令和6年度派遣生の募集・選考は令和5年度に実施）。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○国際情勢及び、感染症との状況を注視しつつ、派遣される生徒の安全を第一に、関係各所と綿密な連携の下、本事業が継続できるように取り組んでいく。 ○異文化理解、異文化適応等、委託業者と連携し、事前研修の充実を図っていく。	○左記のみならず、派遣生徒の健康相談、学校生活等、細かな情報も委託業者から寄せられるなど、委託業者との連携を密にとり、本事業を実施することができた。 ○左記に係る諸問題を委託業者と事前に協議し、事前研修の充実に努めることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	アメリカにおいて、留学ビザの取消件数増加等を鑑み、同国に対する派遣については、慎重に検討する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	委託業者と連携を密にし、令和8年度派遣生におけるアメリカ派遣に関しては、慎重に協議していく。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	募集・選考にかかる業務において、選考の透明性を向上させる必要がある。	① 執行体制の改善	令和6年度の募集要項には、二次試験における面接項目（保護者面接、集団面接、個人面接）のみを記載していたが、各項目の満点を開示する必要があるか検討する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○様々な分野における留学生や研修生の海外派遣等
主な取組	グローバルリーダー育成海外短期研修事業		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・児童生徒に対する外国語教育及び国際理解教育の充実を図るため、様々な分野における留学生や研修生の海外派遣など国際理解の促進と主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るため、目的を絞った分野での短期研修を体験することで、高校生が海外に目を向ける機会とする。	県	高校生を海外短期研修・交流に派遣		
		海外留学派遣・交流者数(短期研修)(累計)		
		80人	80人(160人)	80人(240人)
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課		【 098-866-2715 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業（国際性に富む人材育成事業）			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	53,474	89,583	
令和6年度活動内容				
アメリカ高等教育体験研修、中国教育交流研修、専門高校生国外研修、沖縄県高校生海外雄飛プログラム(計98名)を実施した。				

(単位：千円)

予算事業名	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業（国際性に富む人材育成事業）		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	委託	76,767	
令和7年度活動計画			
アメリカ高等教育体験研修、中国教育交流研修、専門高校生国外研修、沖縄県高校生海外雄飛プログラム(計86名)を実施する予定。			

活動指標名	海外留学派遣・交流者数（短期研修）（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	79人	74人	98人	80人（240人）	100.0%		
						順調	各派遣国において、語学、リーダーシップ研修、学生交流等、各研修目的に沿って実施した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
円安や物価高騰等による懸念はあったが、計画通りアメリカ高等教育体験研修に30人、中国教育交流研修に20人、専門高校生国外研修に28人、沖縄県高校生海外雄飛プログラムに20人計98人を派遣できた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
・現地における研修をより深化させるため、受入先（高校・大学等）やホームステイ、学生との交流を想定した実践的な事前研修や多様性・異文化理解についての事前研修を実施する。 ・研修全体を通してオンラインを積極的に活用し、現地受入先や派遣者相互でコミュニケーションを図っておくことで、円滑な研修を実施する。	・現地との交流を想定した事前準備を綿密に行うとともに、異文化理解に関する講義やワークショップ等を実施することができた。 ・現地受入先やグローバル人材による講話等、オンラインを積極的に活用し、本研修との関連性を重視した事前研修を実施することで、現地における円滑な研修の実施に結び付けることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	海外派遣にあたってはテロや感染症等世界各地での治安および健康上の問題に留意し慎重に判断するとともに、派遣時期についても現地の気候や行事・イベントを踏まえたタイミングとするなど工夫が求められる。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	現地の気候や交流先の行事・文化的背景等を踏まえて、研修時期や研修内容を検討し、派遣者が落ち着いた環境で研修に取り組めるよう努める。
⑦ その他(改善余地の検証等)	グローバル・リーダーとしての主体性を育むため、事前研修の充実と研修で得た学びを定着・発展させるために効果的なフォローアップを行う事後研修を実施する必要がある。	⑦ 取組の時期・対象の改善	事前研修では主体的な参加と異文化理解や課題意識形成のため参加型プログラムを実施する。事後研修では体験の振り返りや学びの定着を図るためプレゼンテーションの作成・発表、各学校での報告会を実施する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○様々な分野における留学生や研修生の海外派遣等
主な取組	アジア高校生オンライン国際交流事業		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・児童生徒に対する外国語教育及び国際理解教育の充実を図るため、様々な分野における留学生や研修生の海外派遣など国際理解の促進と主体的に行動する国際感覚に富む創造性豊かな人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
ICT技術の優位性を活かし、沖縄県とアジアの高校生がオンラインでの協働的な学びに取り組む国際交流プログラムを実施し、多様化・高度化する社会へ対応し、沖縄・日本・アジアの将来を担う国際性豊かな人材の育成を図る。	県	沖縄県とアジアの高校生がオンラインで協働的な学びに取り組む国際交流プログラムを実施		
		海外留学派遣・交流者数（海外交流）（累計）		
		100人	100人（200人）	100人（300人）
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課	【 098-866-2715 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	アジア高校生オンライン国際交流事業（国際性に富む人材育成事業）				予算事業名	アジア高校生オンライン国際交流事業（国際性に富む人材育成事業）	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	17,771	10,596		一括交付金 （ソフト）	委託	10,591
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画		
沖縄県高校生129名・アジア高校生96名の参加者を対象に、オンラインによる国際交流事業を実施した。実施期間：令和6年7月～9月					沖縄県高校生100名・アジア高校生100名を対象に、オンラインによる国際交流事業を実施予定。実施期間：令和7年7月～9月		

活動指標名	海外留学派遣・交流者数（海外交流）（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	159人	230人	129人	100人（300人）	100.0%	順調	プロジェクト活動（しっかりコース）と講義・ワークショップ（お試しコース）の2本立てで、沖縄県とアジア高校生によるオンライン国際交流を実施した。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
「プロジェクト活動」と「講義・ワークショップ」に取り組み、沖縄県高校生とアジア高校生の国際交流を深めることができた。令和6年度沖縄県高校生参加者129名、アジア高校生参加者96名がオンライン上で交流を図った。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○プログラム内容の改善・充実に継続的に取り組みながら、より細やかな指導が行き届くよう本事業を実施していく。 ○ 本事業の趣旨と照らし合わせ、必要に応じて対面型研修の回数を増やしていく。	○参加者数を調整することで、留学生（大学生）によるプロジェクト活動中の支援を効果的に行うことができた。 ○令和5年度は1日の対面研修であったが、令和6年度は2日（事前・事後研修）に増やすことができ、参加者からも好評の声が多く寄せられた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和6年度は申込者が目標値を超えることができたが、令和7年度も同様以上の数値となるよう検討が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	同事業における魅力を最大限に周知できるよう、委託業者と連携を密にとり周知方法について協議する。また、募集人員が目標値を下回った場合も想定し、再募集の方法等についても事前に協議しておく。
⑦ その他(改善余地の検証等)	成果発表会時において、web回線がパンクし、一時的に研修の進行に支障をきたした。	② 連携の強化・改善	研修で参加者が使用するPCの台数を正確に想定するなど、研修がスムーズに進行できるよう委託業者と連携を密にしていく。